

令和4年度 第1回 宝塚市立図書館協議会会議録

日 時：令和4年8月2日(火) 10時00分～12時00分

場 所：中央図書館研修室

出席者：委員 上野委員、今北委員、神崎委員、小谷委員、黒住委員、林委員、藤井委員、
豊蔵委員、(欠席：大城委員)

市 番庄社会教育部長、永尾中央図書館長、上木西図書館長、近藤中央図書館
係長、野村中央図書館係長、藤野西図書館係長、藏野西図書館係長、時任
中央図書館職員

【会議内容】

(永尾中央図書館長)

本日は公私ご多忙の時期にも関わりませず、図書館協議会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

それではまず、委員交代によります委員の委嘱辞令を、宝塚市教育委員会事務局社会教育部長の番庄からお渡しいたします。なお、任期は令和5年6月30日まででございます。

学校教育の関係者

市立末広小学校長 今北 眞奈美 様

市立長尾中学校長 神崎 佳代 様

家庭教育の向上に資する活動を行う者

宝塚市PTA協議会 黒住 みちる 様

学識経験を有する者

広報メディア研究所代表 上野 弘子 様

アリスト外語学院講師 林 希代子 様

昨年度以来、1年ぶりの開催となりますし、交代の委員の方も多かったので、簡単に自己紹介をお願いします。

委員自己紹介

(永尾中央図書館長)

それでは続きまして、社会教育部長から委員の皆様にご挨拶をさせていただきます。

番庄部長挨拶

4月から着任いたしました。図書館については、学びながら、皆さまと一緒に色んなことを考えていきたいと思っております。3月迄は、ワクチン担当にいまして、収まりかけていたものがまた後戻りという状況です。コロナに負けないように体調を整えていただいて、熱中症も心配な時期ですが、お体に気をつけてください。どうぞ、よろしく申し上げます。

(永尾中央図書館長)

引き続きまして、事務局職員の紹介をします。

事務局職員自己紹介

(永尾中央図書館長)

事務局から、本日の協議会の委員の出席状況について報告いたします。

協議会規則第4条第2項に規定しています定足数につきましては、9名中8名が出席いただいております、過半数を超えていますので、本日の協議会が成立していることをご報告いたします。

なお、本日ご出席予定でしたテープライブラリー宝塚の大城 恵様は、ご欠席と伺っています。

それでは、次に、本協議会の委員長ですが、協議会規則第3条第1項の規定により、選出は委員の互選により定めることとなっています。委員長の選出について、ご推薦、ご意見はございますでしょうか。

よろしければ事務局から、上野委員を推薦させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手により全員の承認)

(永尾中央図書館長)

それでは、委員長は上野委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。次に、議長についてですが、協議会規則第4条第1項の規定により、委員長が議長になることとしておりますので、上野委員長にお願いいたします。

(上野委員長)

若輩者でございますが、委員長を務めさせていただきます。皆さま、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、傍聴の方はおられますでしょうか。

(傍聴者なし)

早速ですが、議事に入りたいと思います。議事(1)令和3年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

(近藤中央図書館係長)

はじめに、令和3年度の統計について、報告いたします。図書館年報暫定版からピックアップしてご報告します。まず、6頁をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、ご報告します。

令和2年度は全館休館期間がありました。令和3年度は、コロナ対策による中央図書館、西図書館の臨時休館はありませんでした。なお、公民館等の施設内にある分室は、緊急事態措置による施設の閉鎖により、休室になった期間があります。その他、行事の中止期間もありました。期間等を明示していますので、ご覧ください。

7頁です。また、休館のことですが、令和3年11月1日～12日 まで、中央図書館空調設備(GHP)更新工事による休館がございました。

令和3年12月1日～5月31日まで、西図書館・西公民館空調外改修工事のため、西図書館は臨時休館しました。

次に、令和3年7月1日、中央図書館で専用ロッカーによる予約本の時間外受け渡しサービスを開始しました。閉館後の夜間に、予約本を取りに来られる方へのサービスで、一定数の利用があります。その他の取組については、後程各担当からご説明いたします。

次に、利用動向や行事について、ご報告します。14頁、図書館の蔵書数は、全館で約68万6千冊です。次に、15頁のウ、所蔵冊数の推移についてですが、概ね、67～68万冊で推移しています。令和3年度は、令和2年度に比べて所蔵数が増加しています。これは、西図書館の空調工事による長期休館により、廃棄作業を一旦中止したことが要因と考えています。次に、(4) 中央図書館聖光文庫は、清荒神清澄寺の鉄斎美術館の寄贈を受けて設立された美術関連図書の特別閲覧室です。この部屋の資料は、鉄斎美術館からの寄贈資料となります。また、展示コーナーでは国宝・重要文化財などの精巧な複製品などを展示しています。

次に、16頁の利用券登録者についてですが、過去3年間に貸出のあった登録者の数を実登録者数としています。

昨年は49,455人で、市民全体の約20.3%です。また「1年」は過去1年間に貸出のあ

った登録者数で、令和2年度より105%増となっています。コロナの影響による休室、短時間利用等で登録者数はコロナ以前より減少しているものの、少しずつ、利用が回復してきています。

次に、年代別の登録者数をご覧ください。過去1年間に貸出のあった登録者の数を、年代別に記載しています。最も多い利用は40代で、5,677人です。幼児から10代までは、全体の22.2%、60代以上は29.6%です。

次に、阪神広域による貸出登録者数をご覧ください。令和3年度1年間の貸出のあった登録者数です。

阪神7市1町の住民は、各市図書館利用できますが、当市の住民による他市の図書館利用は計7,562人で、他市町と比較して最多となっています。特に当市と隣接し、阪急沿線の西宮、伊丹、川西の図書館への利用が多くなっています。

次に、貸出をご覧ください。サービスポイントは、中央公民館、仁川サービスステーションで、予約本の受け渡しを行った数です。仁川サービスステーションは西図書館空調設備等の工事による休館中のみ、貸出を行っており、現在は行っていません。WEBは、インターネットで貸出延長した数です。パスワードを登録した利用者は、1回、貸出延長ができます。

次に、年度別貸出冊数をご覧ください。

令和2年度はかなり休館が多かったのですが、令和3年度合計1,936,571冊は、コロナ前の令和元年度1,978,275冊に近づき、分室などの休室があったことも踏まえると、かなり利用が回復してきています。

また、年度別貸出人数にも同様の傾向が見られます。

次に、一日平均貸出冊数をご覧ください。

これも、コロナ前令和元年度と比較します。中央図書館の平均貸出冊数が増加していますが、西図書館空調設備等の工事による休館中のため、中央図書館利用者が増えたためです。

西図書館は休館中、図書館前の市立小林フラワーガーデン管理棟で予約本貸出等を行ったため、開館日数あたりにすると、平均貸出冊数が増加しています。

次に、20頁の種別ごとの予約件数をご覧ください。

予約方法のパソコン・スマートフォン合計インターネット予約は、全体の86.3%を占めています。

(2) 予約件数の推移をご覧ください。

令和3年度は予約件数が大幅に増加していますが、西図書館休館中に図書館前の市立小林フラワーガーデン管理棟で予約本貸出等を行っており、西図書館利用者が予約して他館に借りに行く等の影響であると考えられます。

次に、ステーション別利用状況をご覧ください。

当館は、移動図書館すみれ号が当市図書館から離れている地域を中心に、2週間に一度25か所を巡回しています。

次に、25頁の行事・講演会・講座をご覧ください。

令和3年度は、緊急事態措置により約4か月中止があり、定例行事回数は減少しましたが、予定していた行事等は開催することができました。

中央図書館の行事について、定例行事を一部、ご紹介します。

「レコードコンサート」は、1984年から講師に伊藤寿江氏（元：大阪フィルのヴァイオリン奏者）をお招きし、管弦楽曲等クラシックのCDの鑑賞と解説を行っています。

「市民のための現代文学講座」は、元高校の教員で文学研究者の藤本先生を講師に迎え、今年で最終回の10回目となります。

細川貂々「生きるのへた会？」ですが、宝塚市大使の漫画家・細川貂々さんと考える、生きづらさを感じている人のための「当事者研究入門」の実践編で、新聞にも取り上げられました。

読書講演会には、恐竜博士として有名な真鍋真さんを講師に迎え、併せて、兵庫県立人と自然の博物館から移動博物館「ゆめはく号」を派遣していただきました。恐竜化石のレプリカなどを展示し、たくさんの方が来られました。

次に、子ども向け行事ですが、絵本の読み聞かせとストーリーテリングを行う「おはなしかい」、

10か月～2歳の乳幼児と保護者に絵本やわらべうたに親しんでもらう「えほんであそぼ」などを行いました。

次に、26頁ですが、夏休みの行事としては、小学4年生～中学生対象 図書館員の仕事を体験してもらい「図書館探検隊」や、聖光文庫展示『第8回どうぶつをさがそう～鳥獣人物戯画甲巻・乙巻をみる～（複製）』の絵画に描かれている動物をさがすなどを行いました。

また、中央図書館長期休館中に、おすすめの本3冊を、対象年齢別に福袋にして貸出する「としよかん福袋」なども行いました。

各分室でも、「おはなしかい」などの行事を行っています。

(蔵野西図書館係長)

次に、西図書館の説明をいたします。27頁をご覧ください。

西図書館の独自事業として、「子育て応援！図書館利用のための託児サービス」を昨年度から実施しました。昨年10月と12月に2回ずつ実施し、10時から11時と、

11時から12時の2部制で各1時間託児を行っています。昨年度は4回開催で、15人の参加がありました。満1歳から未就学児の保護者が対象で、託児ボランティアに託児をしてもらう間、西図書館内でゆっくり本を選んでいただきたいという趣旨のサービスです。

また、ぬいぐるみのおとまり会も西図書館独自の行事です。子どもが友達のように思っているぬいぐるみを図書館に一晚預けてお泊りさせている間に、ぬいぐるみが色んな冒険をする様子を写真に撮って次の日にプレゼントし、その時に、ぬいぐるみが読んだ絵本を貸出しするものです。

次に小学生～高校生向き講演会ですが、昨年度は、岡田淳先生に来ていただきました。子ども向け講演会は、今年度も予定しています。

(藤野西図書館係長)

「ことばの祭典ビブリオバトル」は、西図書館が主体で行っている行事で、学校教育課の「俳句バトル」との共催事業です。午前中が俳句バトル、午後からビブリオバトルです。本日、出席いただいている今北校長先生に司会もしていただいています。ビブリオバトルとは、自分が好きな本を3～5分でお薦めして、お互いに競い、どの本が読みたくなったかを投票してチャンプ本を選ぶというものです。本を紹介し合うという経験が子どもたちにとっても良い経験になると考えています。昨年度は小学生部門が7人、中学生部門が3人の参加でした。

次に、少し珍しい事業として、「絵本で楽しむ手話の世界」があります。中央図書館で開催している「手話で楽しむ絵本の世界」という事業は、絵本を手話によって表現して親しんでもらうものですが、聾の方や健常者で手話に関心のある方など、毎回20人程度参加されます。言葉なしの全く手話だけによる読み聞かせで、会の後の交流会で、どういうところに手話を工夫したかなどを話し合っています。そこから派生して、

西図書館で「絵本で楽しむ手話の世界」を行っています。こちらは、聾者の方の社会参加という意味で、聾者の方二人で手話を使い身振り手振りを交え絵本を通じ手話を楽しんでもらい覚えてもらう内容です。昨年度は、1度のみでしたが、今年度は3か月に1度開催しています。

(近藤中央図書館係長)

次に、35頁をご覧ください。他市図書館との比較です。利用数の目安とする1人当たりの貸出冊数をご覧ください。(1) 阪神各市町村図書館との比較ですが、宝塚市は8.6冊で、猪名川町、三田市に次ぐ数値となっています。次に、(2) 同規模市(人口20万人以上人口30万人未満の市)の市立図書館との比較ですが、同規模市38市の内、市民1人当たりの貸出冊数が多い上位20市の図書館と比較しています。宝塚市は上位4番目に位置しています。

39頁以降は、関係条例等の記載をしています。

(永尾中央図書館係長)

それでは、次に、昨年度から始まりました中央図書館の特徴的な事業として、「認知症にやさしい図書館」について、説明いたします。

(野村中央図書館係長)

「認知症にやさしい図書館」を目指す取組は、図書館で何ができるのかということについて、関係する高齢福祉課、地域福祉課、宝塚市社会福祉協議会、御殿山地域包括支援センター、宝塚認知

症オレンジロバネットワークの方々と共に考える「認知症にやさしい図書館会議」を7回実施しました。この会議の中で、認知症について知ることに、認知症を遠ざけるために好奇心をもって図書館で楽しく過ごすことを目的とした「宝塚好奇心クラブ」を実施することになりました。令和3年度には、認知症関連の講座を3回、その他の講座を3回実施しました。内容については、年報の25頁に「宝塚好奇心クラブ」としてまとめていますので、そちらをご覧ください。

今年度に関しましても、4月には、中央図書館の近くにある宝塚スイミングスクールの飛込みコーチで元オリンピック選手の馬淵かの子さんのお話を伺いました。5月には、歴史家の直宮さんのお話を伺い、6月には、認知症サポーター養成講座を行いました。7月19日の予定は10月に延期になりました。8月には、初めての試みで、子ども向けに認知症キッズサポーター養成講座を予定しています。9月は、アルツハイマー月間ということもあり、認知症関連の上映会を行い、高齢福祉課の職員に来ていただき話をしてもらう予定です。10月には、認知症の方の介護をされた方の体験談をお話しいたします。11月には、マチ文庫も書かれていて、宝塚歌劇の轟由起子のファンの方で、前回好評だった山口さんに来ていただきます。12月には、前回コロナで中止になったスマホ講座を行います。スマホを使いこなして、どんどん楽しいことにチャレンジしてもらおうというものです。来年1月には、「脳活」という、正しく体を動かして脳を刺激する講座を予定しています。

イベント以外の取組として、高齢福祉課、地域福祉課との会議を1度開催しました。

また、御殿山地域包括支援センターなどの発案で、オレンジロバというキャラクターの顔出しパネルの作成を行いました。今後、色んなところで皆さんに楽しんでいただければと思っています。(永尾中央図書館長)

中央図書館には、市史資料室がありますので、簡単にこちらの説明を行います。

市史資料室は学芸員を含む4人の会計年度任用職員が市史編集事業と桜ガ丘資料室維持管理事業を行っています。まず、市史編集事業ですが、宝塚市史については、既に全8巻刊行を終えています。その後発見された資料の研究などを含めて研究紀要を発行しています。その他収集した資料の整理、デジタル化、市民や研究者からの問い合わせなどの対応を行っています。また、平成28年度から、西谷村役場文書整理という事業も行っています。西谷村役場文書というのは、明治21年から昭和33年までの約70年に亘り記録された行政文書です。旧町役場などの行政資料の殆どは散逸しているものが多い中で、まとまって保存されていた貴重な資料です。中央図書館にその文書を移し、展示やデジタルミュージアムでの公開などを含め整理、保存を続けています。西谷村役場文書の整理として、毎年1人の臨時職員の人件費を計上しています。市史編集事業の令和4年度の事業費は人件費を除き、2,266,000円です。

続きまして、桜ガ丘資料室維持管理事業ですが、旧松本邸を桜ガ丘資料室として活用しています。平成13年に寄贈を受けました貴重な文化財として、国有形登録文化財となっています。こちらには市史の資料も置いています。公開事業も行っています。

建物が古く、貴重な部分もありますので、通年公開はできませんが、年2回合計11日程度一般公開しています。多い時で1,500人程度の方が見学に来られています。人件費を除く事業費は2,388,000円です。

続きまして、たからづかデジタルミュージアムの公開を始めました。QRコードからサイトに入ることができ、宝塚市史1～3巻までのデジタルデータ、近世の絵図、絵はがき、西谷村役場文書の一部、旧松本邸の360°パノラマ、市内の文化財を紹介する宝塚文化財さんぽマップを見ていただくことができます。このデジタルミュージアムを活用していただくためにデジタルミュージアム活用講座を行っています。

次に、昨年度の書面会議で、皆さまの関心が高かった武庫川女子大学との連携事業についてです。宝塚市では、社会的資源の活用と人的資源の交流を図り、地域社会の発展及び人材育成に寄与することを目的として、武庫川女子大学と包括連携協定を締結しました。その中で、図書館にある広場の活用、集客力を高めるということについて、武庫川女子大学の学生に考えていただき、提案を受けることとなりました。昨年度、図書館では4回、授業では3か月に亘り考えていただき、最終発表された資料をお配りしています。図書館の者だけで考えていると、なか

なか思いつかないような提案となりました。ひとつのチームは、ハンドメイドとミニマルシェとカフェという提案、図書館前にキッチンカーを用意したり、カフェの営業、ハンドメイドのブースというようなことを提案してもらいました。コロナのため実現には至っていませんが、可能な範囲で提案を基にイベントを考えたいと思っています。もうひとつのチームは、図書館広場での夜間上映会、図書館内でのリアル脱出ゲームというものを提案いただきました。図書館でもスタンプラリーを実施したことはありますが、アプリを使ったものを提案していただき、フェイスブックやツイッターなどSNSの活用についても提案がありました。

最後に、年報に戻り決算の関係を簡単に説明します。34頁、通常経費の外に工事費がありまして、中央では、空調機器（GHP）更新工事39,534,000円が挙がっています。

（上木西図書館長）

先ほども説明がありましたが、改めまして西図書館の空調設備工事について簡単にご説明いたします。

建築後28年が経過し、老朽化が著しい空調設備及び屋上防水設備の改修工事に伴い、西図書館は令和3年12月1日から令和4年5月31日までの6か月間休館しました。

休館中のサービスとして、移動図書館の巡回、図書館西側にある市立小林フラワーカーデンにある管理事務所での予約図書の貸出、市立くらんど人権文化センターに西図書館所蔵の図書約4,000冊を持ち込んで貸出を行うなどのサービスを実施しました。また、休館中の子ども向けの行事については、市立くらんど人権文化センターの和室で実施しました。

なお、空調設備の改修工事でしたので、外観や内装の改修などは行っていません。

工事竣工後、6月2日に図書館は再オープンし、6月4日（土）には、公民館との共催によるイベントを実施し、リサイクル図書の配布会などを行い、たくさんの方が来られました。

（永尾中央図書館長）

図書館からの説明は以上になります。

（上野委員長）

ご丁寧な説明ありがとうございました。今の説明について、ご質問、ご意見があればお願いします。

説明をお聞きしまして、コロナでのステイホーム中に本を読みたいという強い気持ちをお持ちの方がたくさんいらして、閉館中でも色んな工夫をしながら市民の気持ちに答えていることが伝わってきました。行事についても、コロナ禍の中、色んなイベントを積極的に開催されて、図書館の方々が前向きに取り組んでおられることが分かりました。

質問ですが、年報の「他市図書館との比較」で猪名川町が市民一人当たりの貸出冊数が飛び抜けて多い。何か理由があるのでしょうか。

（永尾中央図書館長）

猪名川町の図書館は川西市民がたくさん利用されています。市民一人当たりの貸出冊数ですが、全登録者数を全貸出冊数で除いています。市民一人当たりと言いながらも川西市民がかなり入っている可能性が高い。また、大きな無料駐車場があって、大きなショッピングセンターのすぐ近くにあるということもあります。非常に美しく、立派な図書館で、雑誌などもたくさん揃えて魅力的な図書館です。

（上野委員長）

分かりました。他にご意見はありますか。

（豊蔵委員）

同じ頁で、市民一人当たり貸出冊数で、上の表と下の表とで数字が違うのはなぜですか。

（永尾中央図書館長）

発表されている資料の「日本の図書館」という資料が、前年度のものをまとめているので、上の（1）は昨年度、下の（2）は一昨年度となります。

（上野委員長）

その他、どなたか。

(藤井委員)

年報の34頁の図書館協議会の委員報酬ですが、これは年何回分のものでしょうか。

(永尾中央図書館長)

予算につきましては、年3回分を計上していますが、実際には参加された方の分のみをお支払いしています。昨年につきましては、一昨年開催できなかった分、昨年1回目は一昨年の延期分という形で開催し、その後、新しい委員になりましたが、ずっと開催できず年度末に書面会議を開催し、その書面会議に参加された方にお支払いしたものと、2回分の報酬です。

(藤井委員)

開催が年3回ということであれば、今日、たくさんの資料を用意されていますが、事前に送付いただかないと時間の無駄だと思います。質問もしたいが、読み込んでいないので、今説明を聞いただけでは質問もできません。事前に資料を送付いただきたい。

資料とは関係ありませんが、7月にベガホールで合唱コンクールがあるのでしょうか。その関係はどうなのか。お知らせを見ると、図書館の一部を使用し、休館するとあります。

主催は市なのか、財団なのか分かりませんが、その関係を知りたい。

(永尾中央図書館長)

ベガホールは宝塚市文化財団が管理する建物で、室内合唱コンクールも財団が実施しています。以前は市の直営管理でしたが、市の時代から実施している事業です。図書館側がお貸ししている部屋は審査員室と出演者控室としてお貸ししています。ベガホールには控室が殆どない状況です。

(藤井委員)

無料なのかどうかお聞きしたい。何をもって無償で使用しているのか。

(永尾中央図書館長)

使用申請がありまして、許可のうえ無償でお貸ししています。逆に、図書館がベガホールで講演会をするときなどは無償で使用させていただいています。

(藤井委員)

図書館側の立場からすれば、市民が使う施設であるので、無償となるのかと疑問に思いお聞きしました。

(上野委員長)

今のご意見の中で、資料の事前配布についてのご提案がありました。事務局でご検討をお願いします。資料を事前に送付して、委員の皆さんが資料を読み込む余裕があるのか、それとも、会議の場で説明を聞きながら短時間で集中して資料を見るのがよいのか、賛否あるとは思いますが、この件につきましては、事務局にお預けしたいと思えます。

(永尾中央図書館長)

検討させていただきます。

(藤井委員)

学校との関係、学校支援はありますか。

(永尾中央図書館長)

年報32-33頁に「宝塚市子どもの読書活動推進計画」関連事業を掲載しています。33頁の「関係機関との連携・支援」にまとめていますが、「図書館見学」の受け入れ、「団体貸出」を行っています。団体貸出については、実際に図書館に来られて選んで借りられる方もおられますが、市役所のメール便を通しての貸出も行っています。また、「鳥獣戯画絵巻の出張展示」というものも珍しいものですが、6年生の単元の中で、「鳥獣戯画絵巻を読む」というものがあり、中央図書館所蔵の複製の絵巻を職員が学校に持って行って展示し観ていただくことを7校で実施しています。また、新1年生全員に利用案内を配布しています。その他、新任職員の研修の受け入れなども行っています。

(藤井委員)

宝塚市には、学校図書館支援センターのようなものはないのでしょうか。

(永尾中央図書館長)

ありません。

(藤井委員)

学校司書の配置はありますか。また、学校司書の研修は図書館ではなく、教育委員会が担当ですか。

(今北委員)

学校司書の研修については、定期的に学校教育課で行っています。学期に1回研修会を実施しているのに加え、司書が集まり、例えば、読み聞かせの講師を招聘して勉強しているなど活発に行っています。

(藤井委員)

団体貸出は、個別の学校からの依頼ですか。

(永尾中央図書館長)

そうです。また、学校司書の研修に、図書館の司書が呼ばれることもありますが、コロナの影響で、ここ2年間ほどはありません。

(藤井委員)

大阪府下では、市立図書館が学校司書を採用して、各学校へ配置する例があります。いろんな問題があったときに支援センターかあった方が解決しやすいこともあります。

(上野委員長)

それでは、次に、議事の「(2) 令和4年度事業について」事務局からの説明をお願いします。

(永尾中央図書館長)

令和4年度の中央図書館の事業について簡単にご説明します。中央図書館も老朽化してしまっていて、施設の改修が毎年あります。令和4年度につきましては、受変電設備の更新による休館を予定しています。電気が全て止まりますので全館休館となる予定です。1月に4日間休館する予定で、ベガホールとの合同での工事となりますので、工事費の総額は9,229,000円で、図書館分は3,469,939円となります。また、来年度の工事のための設計委託料を予算計上しています。また、広場の活用についても、敷地内に自動販売機を設置し、その売り上げを資源として実施していく予定です。また、そのほかの歳入確保として、平成31年度から中央・西図書館の壁面を利用した広告看板設置による広告看板収入があり、昨年度につきましては、合計で950,000円の歳入がありました。図書館開架室の直焚き吸収式空調機器も老朽化しており、機器の更新を予定しています。今年度は、設計委託料を計上しています。令和4年度以降も引き続き歳入確保に努めてまいります。その他、資料の中に夏休みの行事などのチラシを入れています。「マチ文庫」について、説明いたします。「みんなの宝塚 マチ文庫」という取組を行っています。市民の方が宝塚市に関する本を本にされたものを図書館の蔵書として所蔵するという事業です。当初は、講座などを開催して募集していたのですが、今は、所蔵の本を見ていただいて自分も作ってみたいということで、作られる方が増えています。何冊か持ってきましたので、よろしければご覧ください。

次に、西図書館の事業について、説明いたします。

(藤野西図書館係長)

西図書館では、書架の新設と、それに伴うレイアウトの変更を今年度徐々に進めていきます。また、「宝塚市子どもの読書活動推進計画」を概ね5年おきに改訂していますが、今年度が5年目となり、西図書館が中心となって中央図書館の職員と協力して策定していきます。なお、本来、今年度末までに策定する予定の計画ではありましたが、コロナの影響による状況を鑑みて1年ずらして、来年度の完成を目指しています。

(上木西図書館長)

今年度新たな取組として、図書館利用券とマイナンバーカードとの連携を実施します。

マイナンバーカードで図書の貸出ができるようになります。先程も説明がありましたが、阪神7市1町の図書館の相互利用を行う場合、各市町がワンカードに取り組むことで、複数枚図書館利用券を所持することなく、マイナンバーカードが1枚あれば、本を借りることができますので、利便性が向上します。この取組につきましては、阪神間では、西宮市と三田市が既に実施済みで、令和4年度中に、宝塚市と芦屋市が実施する予定で準備を進めています。

次に、先程来、阪神間の相互利用についての説明がありましたが、現在、神戸市との

相互利用について協議を進めています。阪神間7市1町の住民は、いずれの市町の図書館も利用することができて、各市町で図書館カードを作成すれば、館外貸出ができますが、この取組については協定書を締結して平成3年4月から、川西市は10月から実施しています。これと同様に、神戸市との相互利用について、以前から協議を行っていましたが、今年度から本格的に話が進み、本年度中に実施する予定です。

(上野委員長)

今の説明をお聞きになられて、ご質問やご意見がありましたら、よろしくお願ひします。

神戸市立図書館との相互利用は、宝塚市から神戸市内に学校に行かれたりする人がたくさんいるということですか。

(永尾中央図書館長)

各市とも在勤、在学の方は、もともと使えるので、神戸市内にお勤めの方、学校に行かれている方は、相互利用という制度がなくても使えるのですが、神戸市が神戸市に接する市町について、神戸市の図書館を利用してもよいという制度を随分前から始めていまして、周りの市町の住民の利用を受け入れていた経緯があります。今年度から、宝塚市立図書館も神戸市民を受け入れることの協議を進めています。

(藤井委員)

と言うことは、条例、規則を改正するのですね。

(永尾中央図書館長)

そうです。規則を改正します。

(藤井委員)

お聞きしたいのは、「その他館長が認める場合」という規定を設けてほしいということです。私自身、宝塚市の利用券が作れないのです。私は、大阪府域でも、作れる図書館は全部作りました。例えば、熊取町では制限がありません。色んな大学に非常勤で勤務していたので、その場所で必ず作っていました。在住・在学・在勤ということで、堺市と大阪狭山市が提携を行いました。理由は両市とも維新系の首長であるということです。できれば、「館長が認める」という規定を設けてほしいという希望です。

(上野委員長)

特に意見が無いようでしたら、議事「(3)意見交換等」について、各委員のどなたからでも結構ですので、ご意見がありましたらお願いします。

この会議では、全員の方にご意見をお願いしたいと思っていますので、どんなことでも結構ですので、お願いします。神崎委員、いかがですか。

(神崎委員)

中学生の利用が少ないと感じます。忙しい生活をしている子どもたちですので、なかなか難しいかなと思うところもあるのですが、学校での取組や家庭での環境について考えていかなければと思います。家庭で親が読んでいる姿、或いは、学校で教師が読んでいる姿はとても大事と考えます。雲雀丘の方に住んでいますが、雲雀丘学園に通学する小中学生が歩きながら読書をしている姿を見ます。びっくりするくらいなので、どういう取組をされているか以前から興味を持っていました。年報の数値を見て改めて思いました。

(上野委員長)

小谷委員、いかがでしょうか。

(小谷委員)

県立学校に勤務していますので、小中学校とは少し違うかもしれませんが、本校だけではなく、司書の資格を有する者が、国語の教員を中心として各校に数名程度います。

実務を行っているのは、司書資格を有する者とは限らなくて、本校では実習助手の方に動いてもらっていますが臨時職員という形でもあり、図書館が生きたものになっているか、なかば倉庫のよ

うになっているか、進路に関するものなど実用書が中心で生きた形になっていないこともあります。実際に、生徒が来て、活用されている図書館とそうでない図書館と、いろいろ見てきましたが、どちらかと言うと、本校では実用的な本が置いてあって、必要な時だけに出かけていく、自習室のような図書館になっているなど感じています。生徒が行って楽しいという雰囲気が作り出せてはいないと、常々感じているので、今回、参加させていただいて、明るく、楽しく、本を借りようかなという雰囲気づくりをどのようにされているのかを研究させていただきたい。関連して、年報の16頁にある阪神広域利用による貸出登録者数ですが、伊丹市に何か特徴があるように感じます。伊丹市立図書館は他市からたくさん借りられている。他市の利用者が多くて、逆に、伊丹市民はあまり他市の図書館に行っていない。なにか独自の工夫をされているのか、見に行った時に発見があるのかなと思いました。

(上野委員長)

最近、「図書館プロデューサー」という仕事があることを報道番組で見ました。今、おっしゃるように、死んだ図書館に息を吹き込むようなことで、図書館プロデューサーが入って、配架の仕方や動線、分類番号を変えることによって、利用者が増えたり、楽しむ子どもたちが増えたりしたなどの内容でした。図書館プロデューサーに入ってもらうのは予算的に難しいと思うので、やり方を盗んで変えていくこともよいのではないかと思います。

黒住委員、いかがでしょうか。

(黒住委員)

私は保護者の目線からの意見ですが、息子は本が好きで中央図書館をよく利用しています。小さい時から図書館の司書の方が出してくれた本を手にとっていました。それで、ジャンル、種類も増えてきました。また、「福袋」もよく利用して、新しい発見がありました。西図書館では、「調べものの達人」は、参加したことはありませんが、本の探し方や難しい本を読もうとなった時に、よい取組ではないかと思いました。探し方が分からなくて、司書の方に聞いていたのですが、中央図書館にも、こういう取組があれば範囲が広がって、読む本も増えるのかなと思いました。

(上野委員長)

林委員、いかがでしょうか。

(林委員)

チラシ(西公民館・西図書館リフレッシュオープン記念イベント)を見て素晴らしいと思いました。こんな目の引くようなチラシが駅など図書館以外でも置いてあればと、もったいないなと思いました。チラシは図書館の中だけでもらえるのですか。

(近藤中央図書館係長)

図書館のチラシは、市の施設に配布しています。ただし、駅につきましては、置きたいところなのですが、なかなか厳しく置くことが難しい。コミュニティボードというものがありまして、そこに小さなポスターを貼らしてもらうことがあります。10日間だけですが、ただし、それも他のポスターがあれば貼れないこともあります。

(林委員)

図書館や施設に出向かないと資料がもらえないということですね。

(近藤中央図書館係長)

そうです。

(上野委員長)

貴重なご意見ありがとうございました。駅はハードルが高いと思いますが、例えば、コープなど、身近に足を運ぶようなところに声を掛けられたらと思います。

先ほどもご意見いただきましたが、豊蔵さん、他に何かご意見があればお願いします。

(豊蔵委員)

塾で中高校生に教えていたら、やはり読解力が落ちているような気がします。理数系を教えているのですが、ちょっとした文章が読めなくて、問題が読めなくて応えられないことがあります。これからの問題かと思います。

(上野委員長)

スマホばかり見ていると。スマホの文章は簡潔すぎますね。

(豊蔵委員)

そうですね。キャッチーで目には入ってくるのですが、逆に文章で書かれたら、なかなか読み取れなくなっているかなと思います。

(上野委員長)

ありがとうございました。私からの情報提供ですが、今回、宝塚市の委員を委嘱されまして、慌てて、今年3月にオープンした神戸市の「こども本の森」を日曜日に視察しました。

ご存知の方も多いと思いますが、小さな図書館で安藤忠雄さんの設計です。設計を無料で提供して、総工費はかなりの部分を寄付で賄って、名誉館長が竹下景子さんです。二人のネームバリューで話題となっています。安藤忠雄さんの設計はコンクリート打ちっぱなしで、冷たい感じがしていたので、子どものための図書館で、どうかなと思っていましたが、中身が変わると受ける印象が全然違い、天井までずらっと絵本が並び、温かさ、やさしさ、やわらかさを感じました。木材を多用している点も良かった。その図書館は貸出をしないことが特徴で、そこで本と出会ってくださいということで、ターゲットは小学生で、そこに来て、たくさんある中から本を手にとってみて、借りたくなれば、他の図書館で借りるということでした。館内のあちらこちらで、親子で読み聞かせを行っています。コロナ禍でなかなか難しいですが、皆さんと見学できればと思います。

(藤井委員)

図書館協議会のお知らせには市のルールがあるのですか。ホームページには載っていますか。

(永尾中央図書館長)

はい。市のホームページに掲載しています。

(藤井委員)

やはり図書館のホームページに載せるべきかと思います。市のルールがあるなら仕方ありませんが。もう一点、年報の「組織」を見ていて、今が採用試験の時期と思いますが、司書の採用はどれくらい前から行っていますか。

(永尾中央図書館長)

司書の欠員が生じたときは、新規の採用があります。昨年8月に1人採用しました。その前は2年ほど前に1人採用しました。欠員が補充されずに会計年度任用職員で補っていることがあるのですが、現状、一杯いっぱいであると人事当局に認めていただいています。今のところ、欠員が生じたときは対応

してもらっています。

(藤井委員)

大阪府下で、図書館はリニューアルしたが、職員は全員が5年の任期付き任用職員になった事例がありました。もし、指定管理になったとしても、市の職員は必要と思います。

(上野委員長)

いろいろご意見ありがとうございました。(4) 次回の開催ですが、事務局案がありましたらお願いします。

(永尾中央図書館長)

先程も申し上げましたように、今年度は通常通り3回の開催を目指したいと考えています。通常は、第1回が7～8月、第2回が10～11月、第3回が2～3月になります。

第2回につきましては、先進地視察ということで、バスを借りて、皆さんに新しい図書館を見ていただいていたのですが、コロナの影響でなかなか難しい状況です。新しく委員になられた方も多いため、できれば、中央図書館、西図書館、各分室、市内の図書館を見ていただく機会にしたいと思っています。

第2回の開催につきましては、改めて日程調整のご連絡をさせていただきます。

(上野委員長)

では、皆さま、お疲れさまでした。本日は終了します。ありがとうございました。

-以上-